

～レプトスピラ症患者の発生について～

- 県内で今年初めてのレプトスピラ症（4類感染症）の患者が確認されました。全国では今年43件（第42週：10月20日時点）報告されています。これまでの県内の発生は、平成18年から累計で3件です。
- 病原性レプトスピラを保菌している動物（ネズミ等）の尿に汚染された水や土壌から感染します。
- 川や水路等の水辺で作業を行う際は、ケガをしないよう対策を講じ、ケガをしている場合は、水が傷口に触れないよう注意しましょう。

<患者の概要>

（1）患 者：男性（70歳代）、宇城市在住

（2）職 業：農業

（3）症 状：発熱、結膜充血、黄疸、蛋白尿、腎不全

（4）経 過

9月中旬ごろ、水路の近くで草刈りを実施。

9月27日：倦怠感があり、A医療機関を受診。

9月29日：不眠、食欲不振等のためA医療機関を再度受診。

10月1日：強い倦怠感、食欲不振のためA医療機関を再度受診、入院。

10月3日：B医療機関に転院。

10月24日：B医療機関での検査の結果、レプトスピラ症と診断。

（お問い合わせ先）

健康危機管理課 感染症対策班 担当：松本、徳永

電話 096-333-2240（直通）（内線 33154）

＜参考＞レプトスピラ症とは

【原因】

病原性レプトスピラ感染に起因する人獣共通の細菌感染症です。世界中で発生が見られますが、特に熱帯地方で見られます。

【感染経路】

病原性レプトスピラを保有している動物の尿で汚染された土壌や水が、体の傷や粘膜に接触することで感染します。人から人へうつることはまれです。

【症状】

潜伏期間は3日～14日で、突然の悪寒、戦慄、高熱、筋肉痛、眼球結膜の充血が生じ、かぜのような症状で軽快する軽症型、黄疸、出血、腎障害を伴う重症型（ワイル病）等があります。

【感染予防】

- 水に関連するレクリエーションをする場合に感染しないように心がけること。
 - ・水の中でケガをしないように防護のための装備をする。
 - ・皮膚にケガがある場合は、水の中に入らないようにする。
- 汚染されている可能性がある場所で水を飲まないこと。
- 休養、栄養、睡眠を十分にとり過労を避け、体力の保持に努めること。
- 予防できるワクチンは、現在ありません。

【お願い】

報道機関各位におかれましては、個人情報保護の観点から、患者及び患者家族等について、本人等が特定されないことがないよう、各段の御配慮をお願いします。